**荻村伊智朗　略年譜**

**一　卓球を始める前（～十五歳）**

**●一九三二年（昭和七）**

**六月二五日　父素男、母美千枝の長男として伊東市（静岡）に生まれる**

**●一九三五年（昭和一〇）３歳**

**三月二〇日　父三二歳で死去（二歳九ヶ月で母一人子一人に）**

**●一九四〇年（昭和一五）８歳**

**小学二年のとき、東京三鷹市へ引っ越す**

**小学六年までは戦争中だったので、騎馬戦、赤帽とり、撃沈、すもう、泥合戦などが多く、ドッジボール、野球も少しはした。そのほか行軍と言って、よく長い距離を歩く練習も学校でさせられた。**

**●一九四五年（昭和二〇）１３歳**

**三鷹第四小学校を卒業**

**旧制東京府立第十中学校（後の新制都立西高）に入学（体操部に入部）**

**行軍、体操、サッカー、野球、水泳など行う**

**●一九四六年（昭和二一）１４歳**

**国際通訳養成所に通い英語を学ぶ**

**二　卓球を始めて五年半で日本一となるまで（一六～二一歳）**

**●一九四八年（昭和二三）１６歳**

**都立西高等学校に入学**

**卓球部に入る。コルク張りラケットを買い、持ち方を上級生から教わった。一か月後にラバーを買い、セメダインでコルクの上にはって使い始めた。他の運動は全部やめ、卓球だけしかしなくなった。**

**９月初旬、国体予選に出場したが、１回戦で負けた（相手は武蔵ヶ丘高校の水谷君）**

**●一九四九年（昭和二四）１７歳　高校二年**

**６月東京都下三市三郡選手権大会・少年の部二位（＊約９カ月でビギナーから強い選手に成長している）**

**●一九五〇年（昭和二五）１８歳　高校三年**

**西高卓球部主将となる**

**吉祥寺に武蔵野卓球場がオープン。経営者の上原功三・久枝夫妻と出会う。ここの常連となる**

**憲法記念東京高校チーム戦優勝（市川・亀田・甲子・荻村）決勝は小石川高校**

**関東高校選手権大会（横浜市）東京代表　ベスト１６**

**東京都下選手権大会・少年の部優勝　一般の部３位**

**八王子の阿木選手にカット打ちを・元満州国チャンピオンの河田選手にショート打ちとフット**

**ワークを教わった**

**９月国体予選決定戦敗退（安藤選手・早稲田高）**

**１２月第一回全国高校選手権ダブルス出場・ベスト１６**

**●一九五一年（昭和二六）１９歳**

**都立大学人文学部に入学（卓球を長く続けるつもりはなく、ジャーナリスト志望）**

**３月吉祥クラブに入会（主宰・天野氏（専大OB））力の卓球を知る**

**６月スポンジラバーに転向**

**９月東京卓球連盟秋季新人戦男子単優勝**

**１１月東京都下硬式選手権大会男子単優勝（決勝阿木選手）**

**●一九五二年（昭和二七）２０歳**

**６月全日本軟式選手権に初出場で優勝。（決勝中田選手）**

**全日本（硬式）予選で負け泣く（二〇歳）「笑いを忘れた日」**

**●一九五三年（昭和二八）２１歳**

**日本大学芸術学部映画科に転学**

**アジア選手権団体優勝（優勝の原動力の功績で読売新聞「日本スポーツ賞」受賞）**

**１２月全日本に初出場で単（決勝田中）・複（山田）とも優勝・混合２位（関澄子）（二一歳）**

**三　世界選手権に一二年連続出場し、日本人最多の一二タイトル（二一～三二歳）**

**●一九五四年（昭和二九）２２歳**

**第２１回世界選手権ロンドン大会に初出場。団体（荻村・富田・田舛・川井）と単（決勝フリスベルグ）に優勝**

**男子複３位（富田）**

**５月フランスオープン（パリ）　単（決勝シド）複（富田）優勝**

**７月台中市国際トーナメント　単（決勝田中）優勝**

**８月アキレス腱損傷６か月休養・速攻からオールラウンドに**

**１１月～１２月スウェーデンの招きで単身渡欧。ユーゴ、西ドイツ、オーストリア、デンマーク、スウェーデンを転戦。コペンハーゲン国際リーグ戦などで優勝**

**荻村の選手としての活動を支援する目的で、武蔵野卓球場に集まる有志で「青卓会」が設立される（会長 上原功三）**

**５４年度朝日賞受賞**

**●一九五五年（昭和三〇）２３歳**

**１月、肝硬変を患い約三年間食事療法**

**第２２回世界選手権ユトレヒト大会　団体優勝（荻村・富田・田舛・田中）　複（富田）３位**

**都市対抗優勝・単複全勝**

**関東大学リーグ優勝・単複１０戦全勝（監督・矢尾板氏　パートナー笠原選手）**

**東日本学生選手権大会・単優勝（決勝・野平選手）**

**５５年度朝日賞受賞**

**●一九五六年（昭和三一）２４歳**

**日大を卒業。三洋繊維に入社**

**第２３回世界選手権東京大会で団体三連勝（荻村・田中・富田・角田）単（決勝・田中利明）複〈パートナー富田芳雄〉優勝**

**全日本選手権大会　複（田中利明）・混合（大川とみ）優勝　単３位**

**荻村伊智朗卒業作品「日本の卓球」イタリア国際スポーツ短編映画コンクールで銀賞**

**５６年度朝日賞受賞**

**●一九五七年（昭和三二）２５歳**

**第２４回世界選手権ストックホルム団体四連勝（荻村・田中・角田・宮田）**

**混合複（江口）優勝　単（決勝田中利明）２位　・複（パートナー田中利明）２位**

**五月七日、森田時美と結婚**

**５７年度朝日賞受賞**

**●一九五八年（昭和三三）２６歳**

**アジア競技大会（東京）混合（江口冨士枝）優勝　団体２位　単３位**

**八月一日、長女直実誕生（現姓陶山）**

**●一九五九年（昭和三四）２７歳**

**第２５回世界選手権ドルトムント大会　団体優勝（五連勝）（荻村・村上・星野・成田）**

**複（村上輝夫）、混合複（江口冨士枝）優勝　単３位**

**全英オープン　単・複（村上輝夫）優勝**

**５月裏ソフトに転向**

**全日本軟式　単・混合（大川とみ）優勝**

**全日本硬式単２位（決勝渋谷五郎）**

**１２月招かれて約半年、スウェーデンでコーチ活動**

**中高校生指導講座を卓球レポートに連載開始**

**５９年度朝日賞受賞**

**●一九六〇年（昭和三五）２８歳**

**一〇月三日、長男一晃誕生**

**全日本軟式　混合（大川とみ）優勝**

**全日本硬式　単２位（決勝・星野信彌）**

**第４回アジア選手権ボンベイ大会４冠王　団体（荻村・村上・星野・渋谷）単（決勝李国定）**

**複（村上輝夫）混合（松崎キミ代）優勝　（日本は７種目完全優勝）**

**●一九六一年（昭和三六）２９歳**

**第２６回世界選手権北京大会　混合（松崎）優勝　団体２位（決勝中国）**

**全日本軟式（豊岡市）　単優勝**

**６１年度朝日賞受賞**

**●一九六二年（昭和三七）３０歳**

**１～４月スウェーデン卓球協会の招きによりコーチとして滞在**

**第４回アジア競技大会（ジャカルタ）団体（荻村・木村・三木・小中）混合（松崎）優勝**

**単２位（決勝三木圭一）日本は７種目完全優勝**

**周恩来首相の招きで訪中、各地で指導・交流**

**●一九六三年（昭和三八）３１歳**

**第６回アジア選手権マニラ大会　団体優勝（荻村・三木・福島・高橋）日本は９種目完全優勝**

**第２７回世界選手権プラハ大会　団体（荻村・木村・三木・小中）二位。（決勝中国　荘・徐**

**張）単ベスト８　荻村初めて無冠**

**コーチとして北欧４国・西ドイツに１０週間滞在**

**『中高校生指導講座Ⅰ』（卓球レポート）出版**

**●一九六四年（昭和三九）３２歳**

**十一月十九日、二女晃子誕生（現姓大和）**

**●一九六五年（昭和四〇）３３歳**

**第２８回世界選手権リュブリアナ大会　団体二位　この後現役を退く**

**四　指導者・卓球理論家・執筆者として活躍の時代（三二～五〇代前半まで）**

**●一九六五年（昭和四〇）３４歳**

**世界選手権リュブリアナ大会は選手兼監督。新しい指導法・練習法を導入。日卓協の理事・強化対策本部ヘッドコーチに（協対ニュース）**

**●一九六七年（昭和四二）３５歳**

**第２９回世界選手権ストックホルム大会女子監督。**

**日卓協の理事・ヘッドコーチを辞任**

**「世界の選手に見る卓球の戦術・技術」（卓球レポート）出版**

**●一九六八年（昭和四三）３６歳**

**貿易商社「荻村商事」を設立し社長に（～九四年）**

**青卓会準会員制度発足　草の根活動開始**

**●一九六九年（昭和四四）３７歳**

**フリーの立場で世界選手権を観戦**

**卓球教室（鶴書房）出版**

**●一九七〇年（昭和四五）３８歳**

**訪中し、周首相に「ピンポン外交」を提案**

**月刊「卓球ジャーナル」毎号執筆～８８年まで**

**●一九七一年（昭和四六）３９歳**

**中国が六年ぶりに世界選手権名古屋大会に出場し、「ピンポン外交」展開**

**●一九七二年（昭和四七）４０歳**

**日卓協理事に復帰（～九四年・三九歳）**

**「卓球教室」（大修館書店）荻村伊智朗・藤井基男・木村興治・山中教子　共著**

**「卓球　世界のプレー」講談社**

**●一九七三年（昭和四八）４１歳**

**ＩＴＴＦ（国際卓球連盟）理事に就任**

**●一九七四年（昭和四九）４２歳**

**アジア選手権横浜大会の推進役。以後、日本で開催の各種国際大会の推進役**

**●一九七五年（昭和五〇）４３歳**

**第一回アジア卓球・コーチセミナー（大津市）の推進役兼実務責任者**

**●一九七六年（昭和五一）４４歳**

**日卓協創立四五周年にあたり、選手としての功労により表彰される**

**中高校生指導講座Ⅱ（卓球レポート）出版**

**●一九七九年（昭和五四）４７歳**

**ピョンヤンの総会でＩＦ会長代理に就任**

**生涯スポーツ教室「池袋コミュニティカレッジ卓球教室」（池袋）でオープンから一五年間**

**指導（卓球教室の草分け）**

**アラブ卓連用に「アラビア語の卓球指導書」（大日本印刷）を出版**

**●一九八〇年（昭和五五）４８歳**

**日本卓球協会専務理事に就任（会長・高城元）**

**「卓球競技を見るための本」（同文書院）出版**

**●一九八三年（昭和五八）５１歳**

**世界選手権東京大会組織委の総合企画運営委員長、日卓協競技力向上委員長（大会前後の期間含む**

**●一九八四（昭和五九）５２歳**

**アジア卓球連合の執行役員に（～九四年）。十二月一三日、母七七歳で死去（五二歳）**

**「実戦　卓球」上下（大修館書店）荻村伊智朗・藤井基男・木村興治・山中教子　共著　出版**

**「ザ・ベスト卓球」（大修館書店）出版**

**「卓球」（日本文芸社）出版**

**１２月１３日　母７７歳で死去**

**●一九八五年（昭和六〇）５３歳**

**「卓球　栄光と復活へのドラマ」（ベースボールマガジン社）荻村伊智朗・監修**

**●一九八六年（昭和六一）５４歳**

**「卓球・勉強・卓球」（岩波ジュニア新書）出版**

**五　国際卓球連盟の会長時代（五四～六二歳）**

**●一九八七年（昭和六二）５５歳**

**二月二七日、ニューデリーの総会で第三代ＩＴＴＦ会長に就任（～九四年）。**

**ＩＴＴＦ会長として「ＡＣＴＩＶＩＴＹＲＥＰＯＲＴ」を随時発行し支援者に送付。**

**日卓協副会長に就任（～九四年）**

**「卓球発展計画プロジェクト」（座長　波岡實）の発足**

**現在（二〇一四年）の卓球のイメージアップに大きく貢献**

**●一九八八年（昭和六三）５６歳**

**卓球が正式種目に加わったソウル五輪でＩＦ会長としてサマランチ国際オリンピック委員会会長などに説明、卓球発展策の助言も受ける**

**日本初会員制卓球クラブ「ＩＴＳ三鷹」設立に尽力、顧問として指導（～九四年）**

**一九八七年と一九八八年の二年間で八〇か国を訪問**

**主要議題は次の二つ**

1. **貴協会から世界チャンピオンを出すためには、ＩＴＴＦは共同でどんな問題を解決すべきか**
2. **貴協会の卓球人口を倍増するためには、ＩＴＴＦはどんな協力をすればよいのか**

**●一九八九年（平成元）５７歳**

**ジャパンオープンの創設に尽力**

**服装のカラー化（白もＯＫ）、オレンジ球の採用、テーブルカラーの明るい色への変更などを推進**

**生涯学習審議会委員（文部省・通産省）。相前後して、外務省スポーツ交流審議会委員などに就任**

**「卓球教室」（成美堂）出版**

**「君も名選手になれる卓球教室」（成美堂）出版**

**●一九九〇年（平成二）５８歳**

**ワールドオールスターサーキット（賞金付大会）の創設に尽力**

**卓球ディナーショー「ザ・卓球」の開催**

**「卓球クリニック」（ヤマト卓球）出版**

**生涯学習審議委員（文部省・通産省）**

**スポーツ交流審議会委員（外務省）**

**長野冬季五輪実行委員会国際委員長**

**東京都生涯学習審議会委員**

**日本中国友好協会副会長**

**●一九九一年（平成三）５９歳**

**四月一日、日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）の国際委員長に（～九四年）**

**長野冬季五輪の誘致にも尽力、のち実行委員会国際委員長に**

**世界選手権千葉大会で「コリア」統一チーム実現に尽力**

**朝日スポーツ賞**

**国際ユネスコ協会フェアプレー賞を受賞（国際ユネスコ協会）**

**オリンピック委員会（ＩＯＣ）功労賞を受賞**

**「私のスタンディングオベーション」（日本卓球）出版**

**●一九九二年（平成四）六〇歳**

**バルセロナ五輪で卓球責任者、スウェーデン国王・ＩＯＣ会長などに説明役**

**東アジアホープス卓球大会（小学生以下の国際大会）の創設・大阪開催に尽力**

**ＩＴＴＦは人体に有害な溶剤を含む接着剤の使用禁止を発表**

**（いったん逆戻りしたが二〇〇四年日本卓球協会（専務理事木村興治）はドーハでのＩＴＴＦ理事会で「有機溶剤を含む液状接着剤の使用禁止を提案。二〇〇七年に全面禁止が決定）**

**紫綬褒章を受章**

**●一九九三年（平成五）６１歳**

**地球ユース大会（２０歳以下の世界大会）の実現に尽力**

**日卓協の副会長兼国際競争力向上委員長（～九四年）**

**「日本の千人」（指導者向け情報誌）を同委員会より発行**

**最新の世界情報を全国の熱心な指導者に送る目的で「日本の千人」発刊**

**エッセイ「とんねるず効果」で９３年度日本エッセイスト協会が選ぶベストエッセイ集に選ばれる。（文芸春秋）**

**「スポーツが世界をつなぐ」（岩波ジュニア新書）出版**

**南アフリカのシェリル・ロバーツが荻村伊智朗伝記「Ｉｃｈｉｒｏ　Ｏｇｉｍｕｒａ」（榎並悦子訳）をケープタウンで出版**

**●一九九四年（平成六）**

**ＩＴＴＦ会長在任期間中（八七年～九四年）に九〇か国以上を訪問**

**一月第二回地球ユース卓球大会にイスラエルとパレスティナの選手が参加、対戦。**

**開会式では両国の代表選手による選手宣誓が行われた。あらゆる競技で初めてのこと**

**二月入院先から大阪へ出かけ大阪市長と会談（二〇〇一世界卓球を大阪で開催の件）。**

**十二月四日、肺がんのため死去**

**日本政府から正五位が贈られる**

**日卓協との合同葬（葬儀委員長＝石川六郎・日卓協会長）に三千余名参列。戒名、興卓院球道智尽居士。生地伊東市の松月院に眠る。６２歳**

**●一九九五年（平成七）**

**ユーゴスラビアの卓球人から『荻村賛歌』が贈られる**

**●一九九六年（平成八）**

**「卓球物語」（大修館書店）荻村伊智朗・藤井基男＝共著**

**＊卓球発展の背景を伝えられる本をつくりたいという荻村伊智朗の希望を藤井基男が荻村の没後完成させた本**

**●二〇〇二年**

**「世界の選手に見る卓球の戦術・技術」増補改訂版（卓球レポート）**

**荻村伊智朗著・藤井基男監修**

**●二〇〇六年（平成一八）**

**「荻村さんの夢」（卓球王国）藤井基男・上原久枝・織部幸治＝編**

**＊荻村伊智朗にとって「価値観を共有する友」藤井基男がUFOの会のメンバーの思いを代表して「荻村さんが達成した夢」「達成したかった夢」を書いた本。多くの人の寄付と協力でできた本である。**

**「笑いを忘れた日」（卓球王国）**

**●二〇〇七年**

**荻村伊智朗伝「ピンポンさん」（城島充　著）講談社**

**●二〇〇九年**

**「ピンポンさん」英語版「ＯＧＩ」（翻訳Ｊｏｈｎ　Ｓｅｎｉｏｒ）講談社**

**●二〇一一年**

**「ピンポンさん」が角川書店から文庫本で発売される**

**●二〇一四年**

**新聞・週刊誌・卓球専門誌・テレビ・映画などメディアでの登場（インタビュー・寄稿・取材等）は数知れない。没後二〇年たった現在でも荻村伊智朗の名前は様々なメディアに頻繁に登場する**